



公開講座(法学部)開催のお知らせ

「現代行政活動の最前線～地方創生、雇用と福祉」

札幌学院大学法学部は、別紙のとおり毎年恒例の学部公開講座「法政総合講座A」を開催いたします。「現代行政活動の最前線～地方創生、雇用と福祉」と題し、毎回異なるゲストに講演いただきます。受講料無料、事前申込不要です。問い合わせ先は教育支援課法学部係です（代表電話：011-386-8111）。この機会に多くの市民の皆様にお越しいただきたくご案内申し上げます。



【 法学部公開講座 】（道民カレッジ・江別市民カレッジ連携講座）

<科目名「法政総合講座A」（全15回）>

日時：9月30日（水）～1月20日（水） 13時10分～14時40分（休憩あり）

会場：札幌学院大学 D202 教室（D館2階）

テーマ：「現代行政活動の最前線～地方創生、雇用と福祉」

コーディネーター：嶋田 佳広（札幌学院大学法学部准教授）

受講料：無料

申込み：事前申込は不要です。受講をご希望の方は当日直接教室にお入りください。

問合せ先：札幌学院大学 教育支援課（法学部） 011-386-8111（内線 3214/3226）

取材のお申し込み：札幌学院大学広報入試課広報係（Tel:011-386-8111）

〒069-8555 北海道江別市文京台11番地 札幌学院大学広報課
代表電話 011-386-8111（平日 9:00～17:00 土曜 9:00～12:00）
URL <http://www.sgu.ac.jp/> E-Mail: kouhou@ims.sgu.ac.jp



講義実施内容

回	日付	テーマ	講師
第1回	9月30日	テーマにかかるガイダンス～ 講座の意義	嶋田佳広（札幌学院大学法学部准教授）
第2回	10月7日	地域活性化	池田真紀氏（フリーソーシャルワーカー、北海道大学公共政策研究センター研究員）
第3回	10月14日	防災	小濱弘憲氏、半田登希夫氏（小樽市総務部防災担当主幹）
第4回	10月21日	江別のまちづくりと建築・都市 行政	石原隆行氏（江別市建設部建築指導課）
第5回	10月28日	「マッサン」とまちづくり	笹山浩一氏（余市町総務部）
第6回	11月4日	本道における人口減少問題	中村昌彦氏（北海道総合政策部人口減少問題対策局 地域戦略課主幹）
第7回	11月11日	ブラック企業対策	近藤英孝氏（北海道労働局労働基準部監督課）
第8回	11月18日	女性の活躍推進	本間玲子氏（北海道労働局雇用均等室）
第9回	11月25日	船員の労働保護と船員法	水谷聖氏（国土交通省北海道運輸局海上安全環境部 船員労働環境・海技資格課労働条件係長）
第10回	12月2日	ワーク・ライフ・バランス	柏原理氏（札幌市子ども未来局子ども企画課長）
第11回	12月9日	児童虐待への対応	南部葵氏（北海道室蘭児童相談所職員）
第12回	12月16日	オンブズマンの役割	三木正俊氏（札幌市代表オンブズマン・弁護士）
第13回	12月23日	生活困窮者支援の概要と課題	大野広邦氏（札幌市保健福祉局総務部保護自立支援 担当部長）
第14回	1月13日	税と社会保障一体改革とは	西村淳氏（北海道大学公共政策大学院教授）
第15回	1月20日	まとめ～振り返りと残された 課題	嶋田佳広（札幌学院大学法学部准教授）

※この資料は、江別市政記者クラブ、北海道教育記者クラブに配布しています。

2015
平成27年度

法学部公開講座
リレー講義

法政総合 講座 A

2015年 9月30日水

?

2016年 1月20日水

《全15回》

現代行政活動 の最前線

～地方創生、雇用と福祉

行政に寄せられる期待は、ベクトルはどうあれ、飛躍的に高まっている。なかでも国民生活を身近な立場から支える地方公共団体の責任領域はますます大きくなり、実際、地方創生の旗印のもと、国も地方の再生・創生に本腰を入れ始めた。他方、現実の国民生活は、景気回復の実感のないまま、現在および将来の不安を深く抱えたまま推移している。この点でも、雇用の創出や就業率の増加、同時に悪質な企業の淘汰、さらには雇用労働を支えるサブシステムとしての社会保障・社会福祉制度の効率的運用など、行政の果たすべき役割は数えれば枚挙に暇がない。

この講座では、こうした視座のもと、現代行政の課題を抽象的に認識するにとどまらず、「現場」をキーワードに、具体の課題を現認し、そして行動にどうつなげるのかを、多様な角度から考察することを目的とする。

受講料無料／事前申込不要 受講ご希望の方は、当日直接会場までお越しください。

第1回 9月30日水

テーマにかかるガイダンス

～講座の意義

嶋田 佳広

《札幌学院大学法学部准教授》

第6回 11月4日水

本道における人口減少問題

中村 昌彦

《北海道総合政策部人口減少問題対策局地域戦略課主幹》

第11回 12月9日水

児童虐待への対応

南部 葵

《北海道室蘭児童相談所職員》

第2回 10月7日水

地域活性化

池田 真紀

《フリーソーシャルワーカー・北海道大学公共政策研究センター研究員》

第7回 11月11日水

ブラック企業対策

近藤 英孝

《北海道労働局労働基準部監督課》

第12回 12月16日水

オンズズマンの役割

三木 正俊

《札幌市代表オンズズマン・弁護士》

第3回 10月14日水

防災

小濱 弘憲、半田登希夫

《小樽市総務部防災担当主幹》

第8回 11月18日水

女性の活躍推進

本間 玲子

《北海道労働局雇用均等室》

第13回 12月23日水

生活困窮者支援の概要と課題

大野 広邦

《札幌市保健福祉局総務部保護自立支援担当部長》

第4回 10月21日水

江別のまちづくりと建築・都市行政

石原 隆行

《江別市建設部建築指導課》

第9回 11月25日水

船員の労働保護と船員法

水谷 聖

《国土交通省北海道運輸局海上安全環境部船員労働環境・海技資格課労働条件係長》

第14回 1月13日水

税と社会保障一体改革とは

西村 淳

《北海道大学公共政策大学院教授》

第5回 10月28日水

「マッサン」とまちづくり

笹山 浩一

《余市町総務部》

第10回 12月2日水

ワーク・ライフ・バランス

柏原 理

《札幌市子ども未来局子ども企画課長》

第15回 1月20日水

まとめ

～振り返りと残された課題

嶋田 佳広

《札幌学院大学法学部准教授》

会場／札幌学院大学D202教室（D館2階）
講義時間／13：10～14：40
コーディネーター／嶋田佳広（札幌学院大学法学部准教授）
主催／札幌学院大学法学部
えべつ市民カレッジ・道民カレッジ連携講座

●お問い合わせ先
札幌学院大学教育支援課（法学部係）
〒069-8555 江別市文京台11番地
☎011-386-8111（内線3214、3226）
[URL]http://www.sgu.ac.jp



2015
(平成27年度)

札幌学院大学 法学部公開講座 リレー講義 法政総合講座A《講師紹介》

第1回(9月30日) 嶋田 佳広 ●札幌学院大学法学部准教授

テーマにかかるガイダンス～講座の意義

大阪府出身。大阪府立大学大学院法学研究科博士課程単位取得満期退学。法学修士。2005年札幌学院大学に着任。専任講師を経て現在は准教授。専門は社会保障法、公的扶助法。近時は住宅保障も研究中。比較法の対象はドイツ(社会法典を主に研究)。学部では行政法および社会保障法を担当。札幌でホームレス支援活動(北海道の労働と福祉を考えると)にも関わる。

第2回(10月7日) 池田 真紀 ●フリーソーシャルワーカー・北海道大学公共政策研究センター研究員

地域活性化

東京都出身。北海道大学公共政策大学院(公共政策学修士)。在宅介護ヘルパー、障がい者、高齢者施設職員を経て、1997年東京都板橋区職員、板橋福祉事務所(14年)。2009年『子どもの貧困白書』明石書店、「東京都における低所得者世帯への学習支援」担当執筆、地域安全学会「特別養護老人ホームにおける災害時の事業継続計画(BCP)ガイドライン作成に関する基礎的研究」共著。2010年『日程グローバル』(2010年10月)「読む!公務員～6つの資格をもつケースワーカー～」に掲載。2008年頃から地域活性化勉強会(内閣府)。2011年北海道へ移住。NPO被災者支援、生活保護受給者生活再建、ヒューマンハーバーAI代表、福祉相談支援、地域づくりまちづくり参画。2012～内閣官房地域活性化伝導部、地域全体の活性化をめざし活動。

第3回(10月14日) 小濱 弘憲、半田 登希夫 ●小樽市総務部防災担当主幹

防災

小濱 弘憲: 芦別市出身。
半田登希夫: 小樽市出身。

第4回(10月21日) 石原 隆行 ●江別市建設部建築指導課

江別のまちづくりと建築・都市行政

旭川市出身。北海道工業大学(現:北海道科学大学)大学院修士課程卒(都市空間計画学)。資格:一級建築士、応急危険度判定士、建築基準適合判定士。業務外活動として、えべつ市民活動団体江北まちづくり会(事務局)、新建築家技術者集団(幹事)、DIG(災害イマジネーションゲーム)普及活動、国際交流活動、マスターズ(水泳)等に参加。

第5回(10月28日) 笹山 浩一 ●余市町総務部

「マッサン」とまちづくり

余市町出身。2014年度後期連続テレビ小説「マッサン」の放送終了後もドラマのモデルとなったニッカウチスキー創始者竹鶴政孝・リタ夫人のゆかりの地、余市町として行政、経済、産業団体をはじめ関係機関等との連携により「おもてなしの心」で、地域がつながる積極的な事業等を展開し、地域経済の振興を図ってまいります。

第6回(11月4日) 中村 昌彦 ●北海道総合政策部人口減少問題対策局地域戦略課主幹

本道における人口減少問題

旭川市出身。北海道大学法学部卒業。1998年12月北海道庁入庁。2001年11月経済部雇用対策課。2005年4月網走支庁地域政策部地域政策課地域政策係長。2008年4月経済部商工局商業経済交流課主査。2010年4月総合政策部科学IT振興局情報政策課主査。2013年4月総合政策部政策局主幹。2014年11月総合政策部政策局人口減少問題対策室主幹。2015年6月より現職。

第7回(11月11日) 近藤 英孝 ●北海道労働局労働基準部監督課

ブラック企業対策

札幌市出身。1988年4月旧労働省東京労働基準局に労働基準監督官として入省。2015年4月から当局労働基準部監督課労働契約専門官として勤務。

第8回(11月18日) 本間 玲子 ●北海道労働局雇用均等室

女性の活躍推進

札幌市出身。1986年旧労働省北海道婦人少年室(現雇用均等室)に入省。2014年4月から当局雇用均等室長として勤務(前任地は岐阜労働局)。

第9回(11月25日) 水谷 聖 ●国土交通省北海道運輸局海上安全環境部船員労働環境・海技資格課労働条件係長

船員の労働保護と船員法

釧路市出身。日本大学文理学部地理学科卒業。1995年北海道運輸局入局。その後、苫小牧海事事務所、釧路運輸支局等勤務を経て、2009年海上安全環境部運輸労働監視官、2012年総務部人事課厚生係長、2014年より現職。

第10回(12月2日) 柏原 理 ●札幌市子ども未来局子ども企画課長

ワーク・ライフ・バランス

2015年4月札幌市子ども未来局子ども企画課長就任。札幌市では、子どもを生み育てやすい社会を実現するため、ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組む企業を独自の基準で認証しています。認証企業に対しては、従業員が育児休業を取得した際に助成金を支給したり、市と契約を締結する際に優遇したりするなど、さまざまな支援を実施しています。

第11回(12月9日) 南部 葵 ●北海道室蘭児童相談所職員

児童虐待への対応

旭川市出身。北海道大学大学院教育学研究科修了。北海道釧路児童相談所勤務(心理判定)。北海道帯広児童相談所勤務(心理判定)。東日本大震災による宮城県派遣(宮城県東部児童相談所気仙沼支所 被災地での心理ケア)。北海道保健福祉部子ども未来推進局勤務。北海道室蘭児童相談所勤務(児童福祉司)。

第12回(12月16日) 三木 正俊 ●札幌市代表オンブズマン・弁護士

オンブズマンの役割

雨竜郡沼田町出身。一橋大学法学部卒業。1981年4月弁護士登録(東弁)。1986年8月弁護士登録換(札幌)。2008年度札幌弁護士会会長。2009年度北海道弁護士会連合会理事長。2011年度日本弁護士連合会副会長。2013年3月札幌市オンブズマン。

第13回(12月23日) 大野 広邦 ●札幌市保健福祉局総務部保護自立支援担当部長

生活困窮者支援の概要と課題

函館市出身。東北大学法学部卒業。1984年札幌市役所採用。生活保護ケースワーカー6年半をはじめ、生活保護に関わる業務は通算22年以上になります。2015年4月1日施行の生活困窮者自立支援制度について新たに勉強することが多いです。

第14回(1月13日) 西村 淳 ●北海道大学公共政策大学院教授

税と社会保障一体改革とは

千葉県出身。東京大学法学部卒業。早稲田大学大学院法学研究科博士後期課程修了(博士(法学))。1986年厚生省(現厚生労働省)入省、政策企画官、国際年金企画室長、企業年金国民年金基金課長、社会統計課長、大臣官房参事官などを経て、現職へ。著書に『社会保障の明日』(ぎょうせい)、『所得保障の法的構造』(信山社)、編著書に『雇用の変容と公的年金』(東洋経済新報社)など。

第15回(1月20日) 嶋田 佳広 ●札幌学院大学法学部准教授

まとめ～振り返りと残された課題

プロフィールについては、第1回を参照してください。



札幌学院大学

受講料は無料で、どなた様でも受講できます。人数の制限はありません。事前に申し込む必要はありませんので、当日直接会場までお越し下さい。